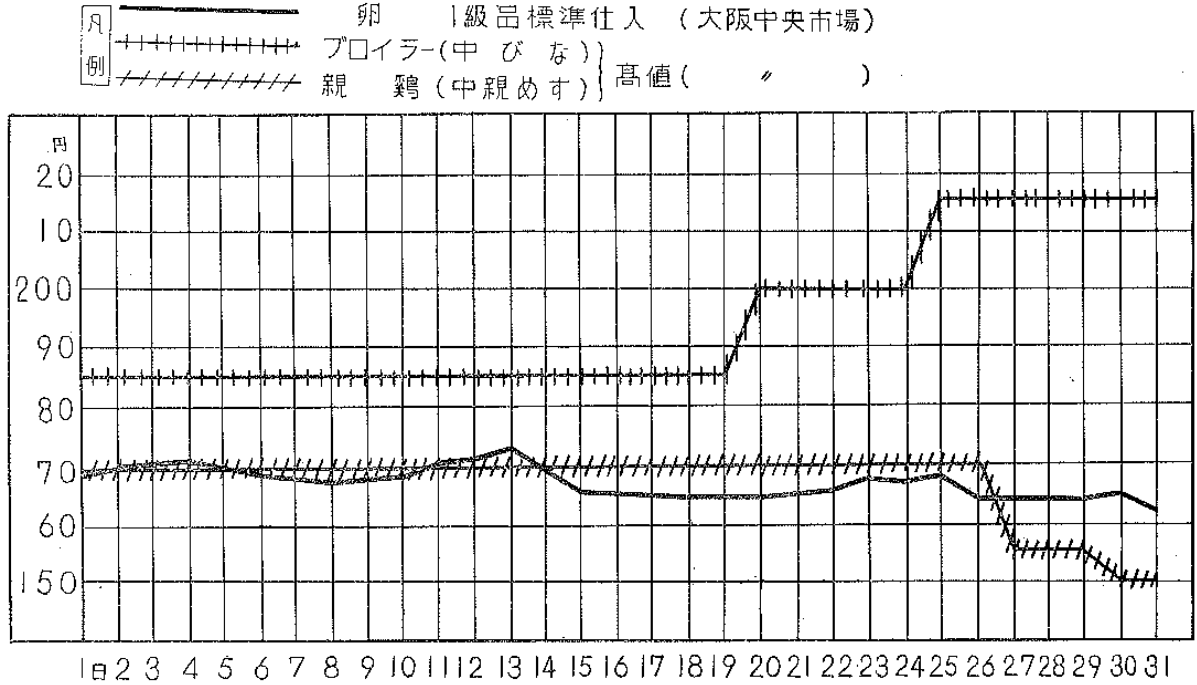


鶏卵鶏肉市況月報

(35年5月)

大阪経済事務所



平均 価格 (冠当)	卵	35年 5月	34年 5月	阪 入 神 荷 地 区 推 定 数 量	岡 山 香 川 大 阪 其 他 計	卵 胚	プロイラー 羽	親 鶏 羽	共 同 出 荷 実 績	経済連	卵	プロイラー	親 鶏
		円	円								胚	羽	羽
	卵	167	177			1,260,000	15,000	37,000			504,000	—	—
	プロイラー	194	119			830,000	36,000	70,000		西大寺	10,000	—	—
	親 鶏	167	128			1,530,000	57,000	110,000		美 作	32,000	—	—
						1,440,000	90,000	180,000		養 鶏 加工連	—	6,500	—
						5,060,000	198,000	397,000		計	546,000	6,500	—

鶏卵の5月の出廻り量は、4月より約1割減であった。相場は月始めはかなり好調であったが以後はじり貧の傾向を辿って、しりすぼみの市況であった。月間平均相場は胚167円で前年同期より胚10円安と低調であった。これは例年なればマヨネーズ向けの出荷が相当活発な時期であるが、今年は4月の卵価高によりマヨネーズ生産会社では卵の仕入れを5月17日で一応打切ったため、それ以後相場は軟調に転じた。これに加えて昨年の5月は香港輸出の最盛期に当って月間約6万ケースが神戸港より積出されたのに対し、本年は

半量の3万ケースが輸出されたのみで、一般市場への出廻りが昨年に比べて非常に多いことからこの相場の軟調をみた。

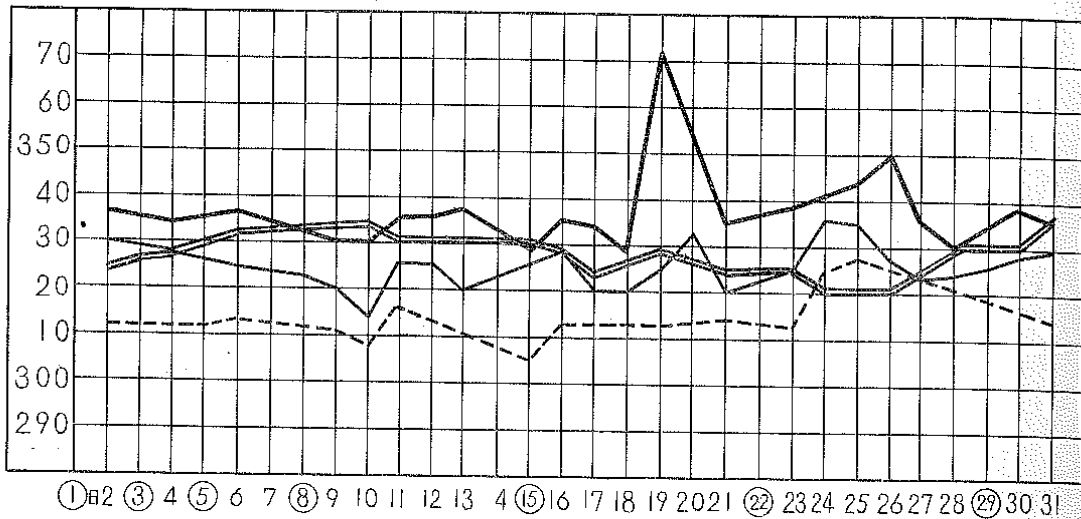
食鳥の市況は昨年に比べれば非常に良くなっており、若鶏で胚75円高、親鶏で胚40円高となっている。6月に入ってからは若鶏の出廻りは5月より約1割減となっており、相場の気配は強含みとなっている。

肉 畜 市 況 月 報

(35年5月)

大阪経済事務所

凡例
 〰〰〰 ぬき
 〰〰〰 豚
 〰〰〰 中値(大阪食肉卸売市場)



共同出荷実績	団体名		頭数	平均単価	枝肉量	売上金額			摘用	
	県	連				枝肉	原皮	内ぞう		計
	豊国農協	豚	11	331	542.9	179,610	—	4,340	183,950	
		高粱	8	313	527.6	165,330	—	4,220	169,550	〃
		高陽	11	322	650.0	209,300	—	5,200	214,500	〃
	経済連	豚	9	320	646.2	206,568	—	5,169	211,737	徳島ハムK.K
	勝田畜連	ぬき	15	327	3,257.0	1,056,360	63,000	52,112	1,180,472	大阪畜産K.K
		豚	8	343	1,888.5	647,170	33,600	30,216	710,986	
	江見農協	豚	14	323	768.7	247,970	—	6,149	254,119	〃
平均価格	35年5月		と畜(大阪市場)頭数	牛	4,047					
	ぬき	338		312	仔牛	434				
	ぬき	325		268	豚	6,259				
	おす	316		254	馬	73				
	豚	328		181	めん羊	107				

5月の市況は4月と殆んど変らぬ状況であった。しかしぬき、おすは依然として気配が強く、ともに4月より7円高であった。入荷量は4月より牛で250頭減、豚は500頭の減となった。例年5月、6月は業界で云うところの筍と豆の時期にあたり末端の消費がパットしない時であるので、商況には余り活気はみら

れぬが、相場の水準は依然として高い。月間平均相場を前年同期に比べると、中物ぬきで26円高、ぬきで同じく60円高、おすで同じく62円高となり、ぬき、おすの相場高が特に目につく昨今の市況である。一方豚は同じく147円高となって需要の旺盛さを物語っている。